

廃液等貯留容器表示札の 記入方法

令和6年6月17日

施設保全課 環境安全センター担当

はじめに

- 廃液等貯留容器表示札について、
①～③の欄に分けて、記入方法を説明します。

別紙様式第1号				
廃液等貯留容器表示札				
分別収集区分	F:アルカリ系廃液		引渡年月日	〇〇年〇月〇日
部局・	理工学研究科		TEL	〇〇〇〇
研究室等名	物質科学科応用化学コース ○×化学研究室			
この廃液等は、下記内容に相違ありません。 また、核燃料物質、放射性物質は混入していません。 排出者として責任を負いますので、処理方お願いします。				
責任者職・氏名 准教授 秋大 太郎				
廃液等の明細	区分	無機系廃液	有機系廃液	有害固形廃棄物
	排出量	20 L	L	kg
	主な成分の名称及びその割合	H ₂ O 約 97 %	約 %	
	少量成分の名称及びその割合	NaOH NHCO ₃ 塩 NH ₃ Na ₂ CO ₃ 約 3 %、 1 ppm	約 %、 ppm	
	pH	9		
発生の経緯、 取扱い上の 注意事項等				

①

②

③

①分別収集区分他

分別収集区分	E:重金属系廃液	引渡年月日	' 〇〇年〇月〇日
部局・	理工学学研究所	TEL	〇〇〇〇
研究室等名	物質科学科応用化学コース ○×化学研究室		
<p>この廃液等は、下記内容に相違ありません。 また、核燃料物質、放射性物質は混入していません。 排出者として責任を負いますので、処理方お願いします。</p> <p>責任者職・氏名 _____ 准教授 秋大 太郎</p>			

分類	種類	
A	水銀系廃液	
B	シアン系廃液	
C	フッ素・リン酸系廃液	
D	酸及びクロム混酸廃液	
E	重金属廃液	
F	アルカリ系廃液	
G	写真定着廃液	
H	可燃性廃溶剤	
I	廃油	
J	ハロゲン系廃溶剤	
K	難燃性有機廃液	
L1	有機系固形廃棄物	水銀系
L2		シアン系
L3		フッ素・リン酸系
L4		重金属系
L5		有機系
L6		その他

【記入方法】

- 「分別収集区分」は右表の「分類」（コードA～L）を記入する（必須）
 - 「種類」も記入するとよい
 - 右表に記載がないものは、回収日の3日前までに環境安全センター担当に相談し、了承を得た上で排出すること
 - 「試薬」は回収しない
- 「引渡年月日」は「廃液の回収日」を記載する（必須）

③ 部局・研究室等名他

区分	無機系廃液	有機系廃液	有害固形廃棄物
排出量	20 L	L	kg
廃液等の明細	主な成分の名称及びその割合 H ₂ O 約 97 %	約 %	
	少量成分の名称及びその割合 NaOH NHCO ₃ 塩 NH ₃ Na ₂ CO ₃ 約 3 %、 1 ppm	約 %、 ppm	
pH	9		
発生の経緯、取扱い上の注意事項等			

【記入方法】

- 「排出量」には、容器に入れた廃液量を小数点以下を四捨五入した整数で記入（必須）
- 「主な成分の名称及びその割合」、「少量成分の名称及びその割合」には、廃棄物処分業者が安全に廃液等を処分するための必要十分な情報を記入すること（必須）。
- 無機系廃液は原則「pH」を記入すること。
- 廃棄物処分業者が廃液等を処分するにあたって留意すべき項目がある場合、「発生の経緯、取扱い上の注意事項等」に記入する。
- 廃液等は「秋田大学有害廃棄物暫定処理指針」に従い取扱うこと。